



第38回福証IRフェア 会社説明資料

証券コード1401
株式会社 エムビーエス
代表取締役 山本 貴士
2023年 3月 8日

1 会社概要

2 事業内容

3 業 績

4 外部環境

5 成長戦略

1. 会社概要
2. 経営理念
3. 沿 革

会社名	株式会社 エムビーエス
本社所在地	山口県宇部市西岐波1173-162（宇部臨空頭脳パーク10番）
代表者	代表取締役社長 山本 貴士
設立	1997年6月20日
決算期	5月
資本金	3億9,132万円（2022年11月現在）
上場取引所	東証グロース、福証Q-Board（コード1401）
発行株式数	7,732,000株（2022年11月現在）
株主数	2,553名（2022年11月現在）
主要株主	山本貴士〔27.68%〕，極東ホールディングス(株)〔13.16%〕 鳴本聡一郎〔4.76%〕，エムビーエス従業員持株会〔3.43%〕 （2022年11月現在）
役員構成	取締役 松岡弘晃、高木弘敬、栗山征樹 取締役（監査等委員） 影山祥玄、伊藤尚毅、前田 隆
事業概要	住宅及び諸建造物内外装リフォーム工事全般、建築工事業 その他リフォームに関するコンサルティング 機能性塗料の開発及び販売
従業員数	110名（2022年5月現在）

経営理念

ドラマ化される会社にする

行動規範

- 一. 建設業界での「新たなる常識づくり」に対して興味と情熱を持ち誠意ある姿勢で仕事に努めること
- 一. 顧客満足を第一として、高品質な施工を適正価格にて提供すべく絶えず追及し研鑽し続けること
- 一. 事業に携わるすべての関係者が協調して運営にあたることを旨とすること

- 1993 ● 1月 山本貴士（現代表取締役社長）が足場業を個人創業
- 1997 ● 6月 「有限会社アクアビギ」を設立
- 1998 ● 2月 商号を「有限会社エム・ビー・エス」に変更し、外壁リフォームを開始
- 2001 ● 7月 株式会社エムビーエスに組織変更
- 2002 ● 9月 LIQUID PLASTICS Limited（英国）との特殊機能性塗料の取引を開始
- 2004 ● 5月 福岡支店開設
- 2005 ● 4月 福岡証券取引所Q-Board市場に株式上場**
- 2006 ● 1月 LIQUID PLASTICS Limited（英国）と日本国内における総販売代理店契約を締結
2月 東京支店開設
- 2008 ● 2月 「スケルトン耐震防災コーティング」NETIS登録
- 2010 ● 5月 大阪支店開設、7月 広島支店開設
12月 「スケルトンはく落防災コーティング」NETIS登録
- 2011 ● 6月 横浜支店開設
- 2012 ● 12月 「超薄膜スケルトンはく落防災コーティング」NETIS登録
- 2013 ● 6月 千葉支店開設
- 2014 ● 4月 周南支店開設、8月 西東京支店開設
- 2015 ● 6月 埼玉支店、福山支店、下関支店開設**
8月 東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
9月 久留米支店開設
- 2016 ● 3月 名古屋支店開設、12月 岡山支店開設
- 2017 ● 4月 本社および研究所移転（宇部市西岐波1173-162宇部臨空頭脳パーク10番）
6月 浜松支店開設
- 2018 ● 3月 神戸支店開設、4月 熊本支店開設、6月 仙台支店開設
- 2019 ● 3月 松山支店・北九州支店開設、6月 宇都宮支店開設
- 2022 ● 4月 東証グロース市場へ移行

1

会社概要

2

事業内容

3

業績

4

外部環境

5

成長戦略

1. ビジネスモデル
2. SDGsの取り組み
3. ホームメイキャップ事業
 - ①強み
 - ②実績
 - ③セグメント別売上高および利益
 - ④クリアコーティング施工
 - ⑤カラーコーティング施工
 - ⑥応用・特殊施工
 - ⑦スケルトン防災コーティング施工
4. 建築工事業



ホームメイキャップ[®]事業

独自技術で
建造物の
美観再生
耐久性向上

特許技術で
土木建造物の
剥落防止
補強

建築工事業

Build & Reform

その他

FC加盟店に対する
コーティング材等の販売

技術力の強化

- ・ より良いものへ柔軟に進化させる
- ・ 先を見据えた新技術への挑戦
- ・ 技術で安全安心な暮らしを守る
- ・ 資格・免許取得サポートによるスキルアップ



環境も守る技術

- ・ 長寿命化に適した技術の提供
- ・ 古き良きものを未来に残す
- ・ ホームメイキャップで「列島リフォーム®」の実現



地域経済の活性化

- ・ 全国への広域展開で各地での営業基盤を構築
- ・ 50拠点展開に向けた積極的雇用への取り組み
- ・ スポーツチームなどとのスポンサー契約
- ・ イベントへの協賛
- ・ 中心市街地活性化への取り組み
- ・ パートナーとのアライアンスによる受注構造





Home Makeup
Quality evolution theory.

(図形商標)

登録第4847736号

「ホームメイキャップ」というブランドを軸に事業展開

ホームメイキャップとは、当社独自の4つの施工技術により劣化した建物の美観を再現し、環境への耐性を強化するサービスの総称

ホームメイキャップ

一般住宅・マンション・ビル等のリフォーム

クリア コーティング施工

無色透明なため
歴史的建造物に最適



カラー コーティング施工

美観を再生するため
主に一般住宅や
アパートに最適



応用／特殊 施工

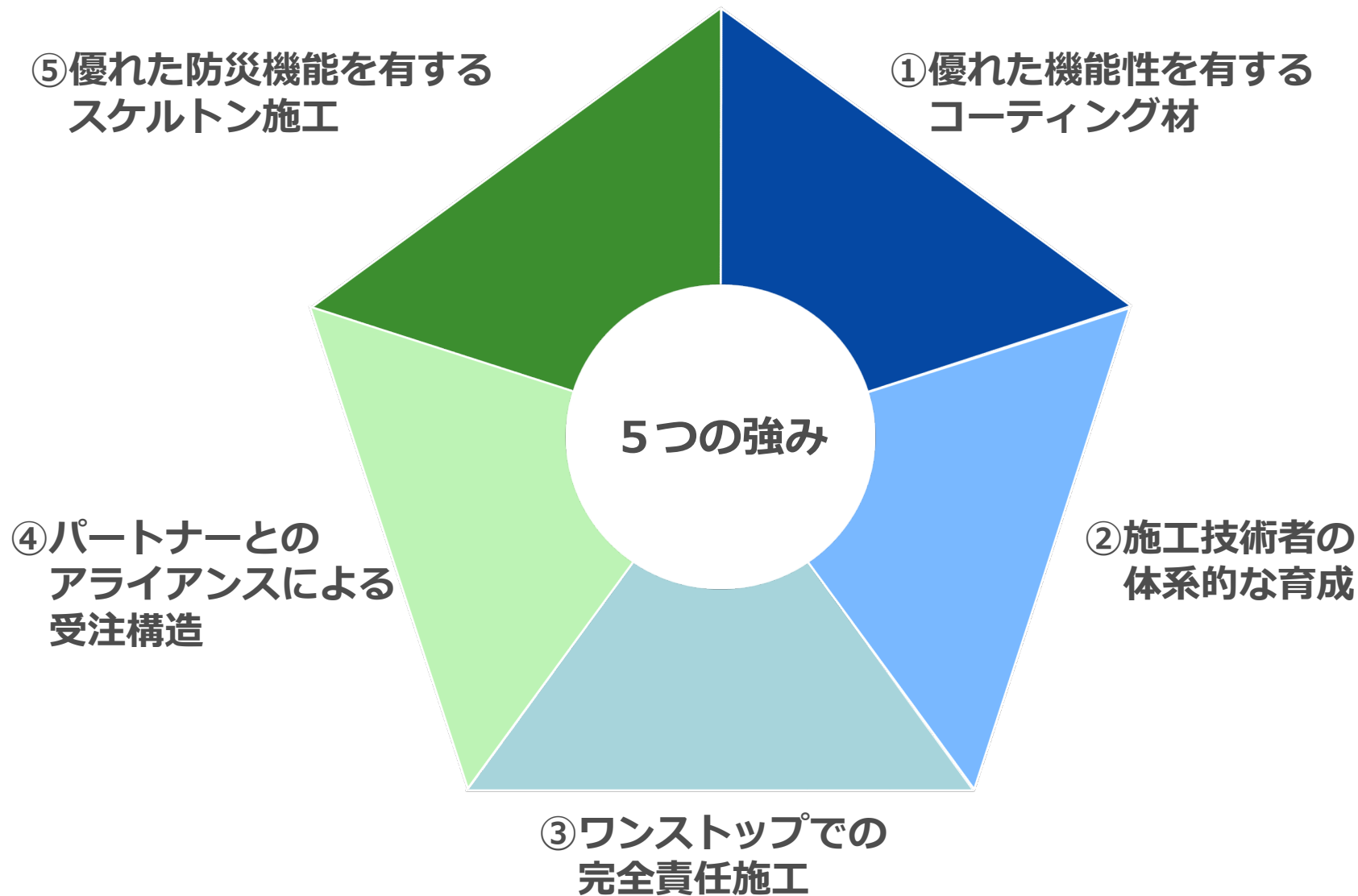
クリア・カラーコーティング施工の技術を応用し、
外溝や屋根コーティング、止水・防水等の特殊工事

橋梁及び橋脚・トンネル等の補修

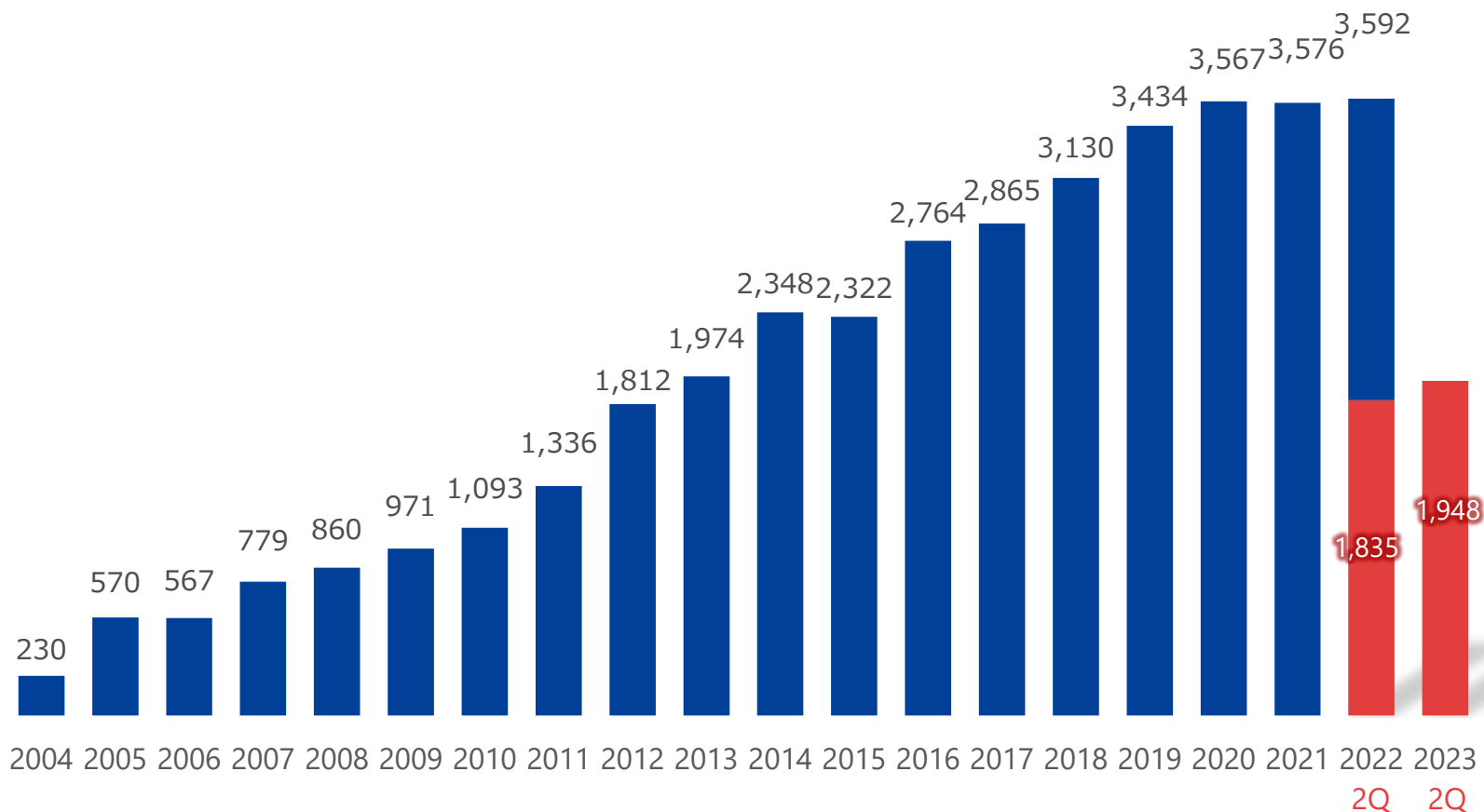
スケルトン防災コーティング施工

施工後もコンクリート表面が透けて見える
革新的な耐震補強・はく落防止工法

- ・薄膜スケルトンはく落防災コーティング
- ・超薄膜スケルトンはく落防災コーティング
- ・スケルトンクリアーコーティング
- ・T-One工法



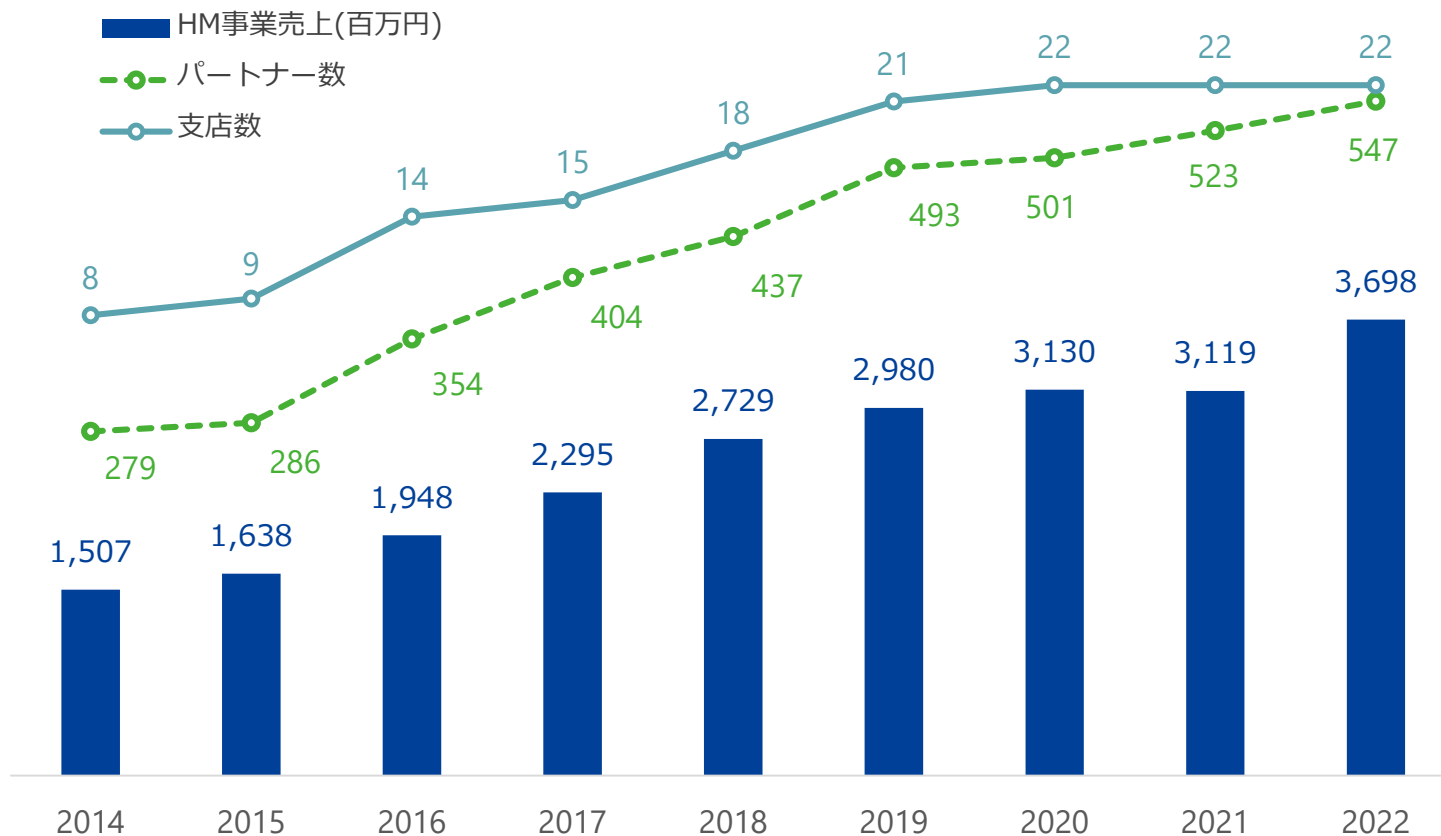
リフォーム工事実績件数推移



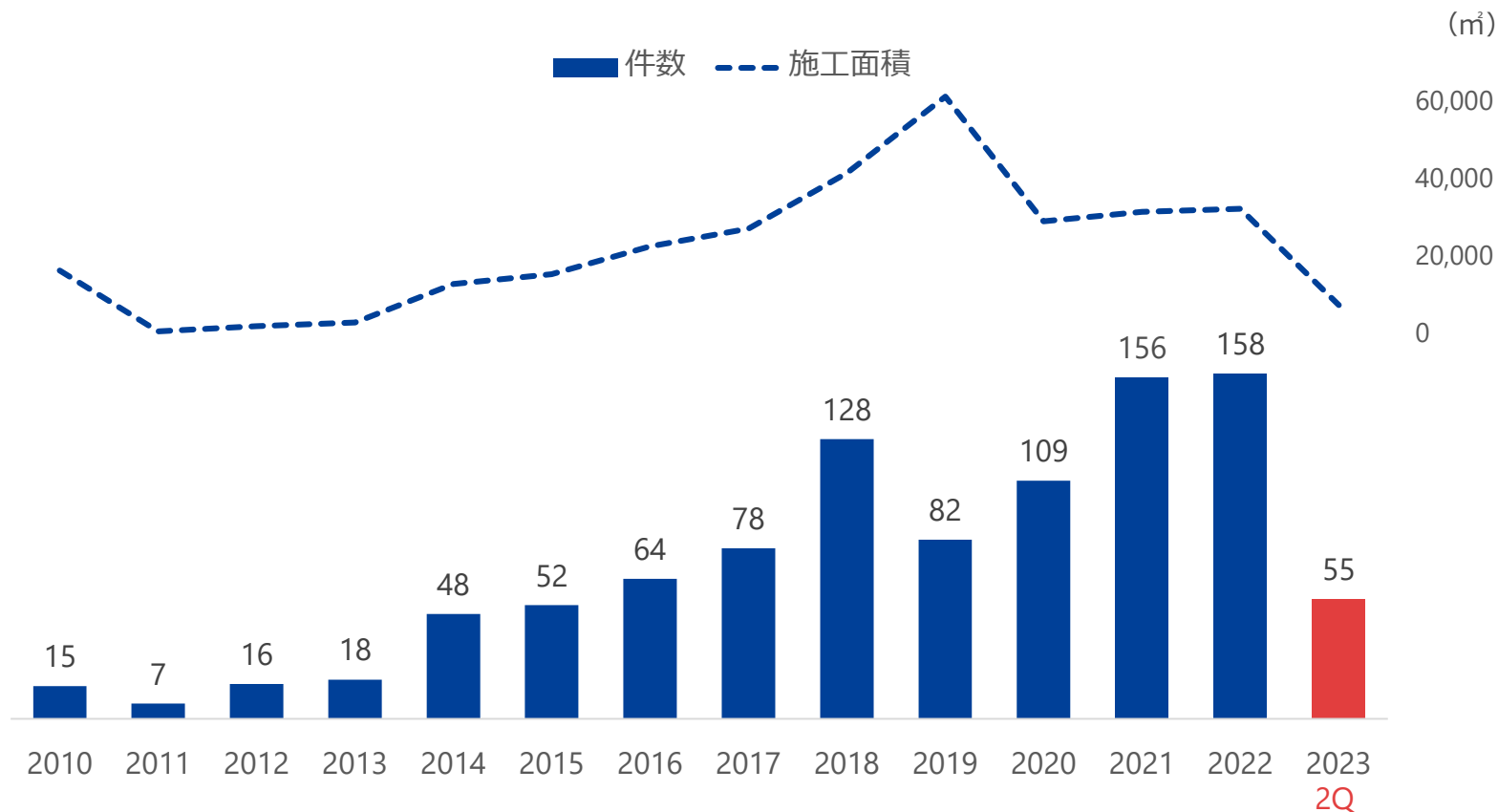
リフォーム工事実績件数 39,738件

(2023年5月期2Q)

支店数・パートナー数推移



スケルトン防災コーティング施工実績推移



スケルトン防災コーティング施工実績件数 986件
総施工面積 約30万㎡

(2023年5月期2Q)

導入キャリア（28社）

道路 (10)	東日本高速道路(株)
	中日本高速道路(株)
	西日本高速道路(株)
	中日本ロード・メンテナンス東京(株)
	西日本高速道路ファシリティーズ(株)
	西日本道路エンジニアリング四国(株)
	首都高速道路(株)
	阪神高速道路(株)
	京都府道路公社
	本州四国連絡高速道路(株)
鉄道 (14)	北海道旅客鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)
	西日本旅客鉄道(株)、九州旅客鉄道(株)
	東武鉄道(株)、西部鉄道(株)、東急電鉄(株)、 相模鉄道(株)、南海電気鉄道(株)
	京阪電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)、 泉北高速鉄道(株)、秋田内陸縦貫鉄道(株)
	しなの鉄道(株)
電力 (4)	北海道電力(株)、東北電力(株)
	関西電力(株)、九州電力(株)

都道府県別工事实績件数

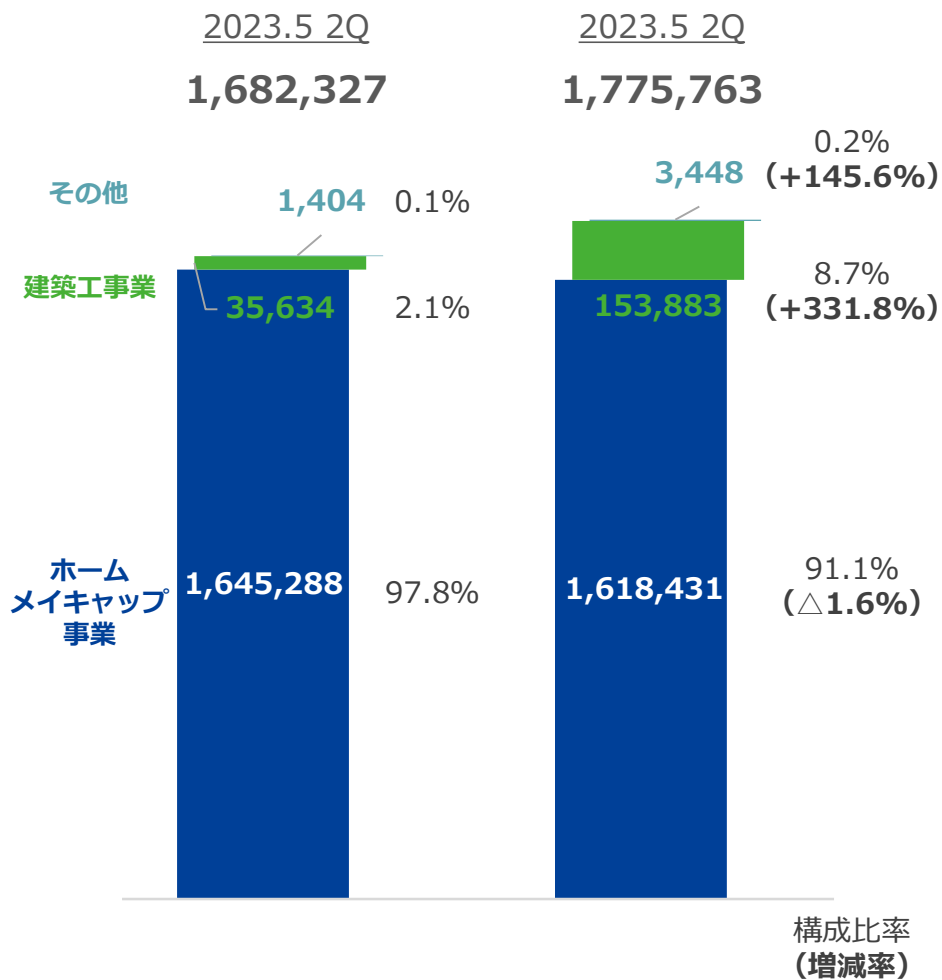
No.	件名	件数			
1	北海道	183	24	三重県	22
2	青森県	17	25	滋賀県	10
3	岩手県	31	26	京都府	58
4	宮城県	10	27	大阪府	87
5	秋田県	11	28	兵庫県	38
6	山形県	20	29	奈良県	11
7	福島県	12	30	和歌山県	5
8	茨城県	11	31	鳥取県	15
9	栃木県	8	32	島根県	5
10	群馬県	14	33	岡山県	9
11	埼玉県	17	34	広島県	31
12	千葉県	23	35	山口県	48
13	東京都	29	36	徳島県	1
14	神奈川県	20	37	香川県	3
15	新潟県	24	38	愛媛県	3
16	富山県	2	39	高知県	3
17	石川県	11	40	福岡県	19
18	福井県	15	41	佐賀県	8
19	山梨県	2	42	長崎県	2
20	長野県	12	43	熊本県	5
21	岐阜県	12	44	大分県	12
22	静岡県	38	-	宮崎県	
23	愛知県	62	45	鹿児島県	6
			46	沖縄県	1

2-3.ホームメイキャップ事業—③セグメント別売上高および利益



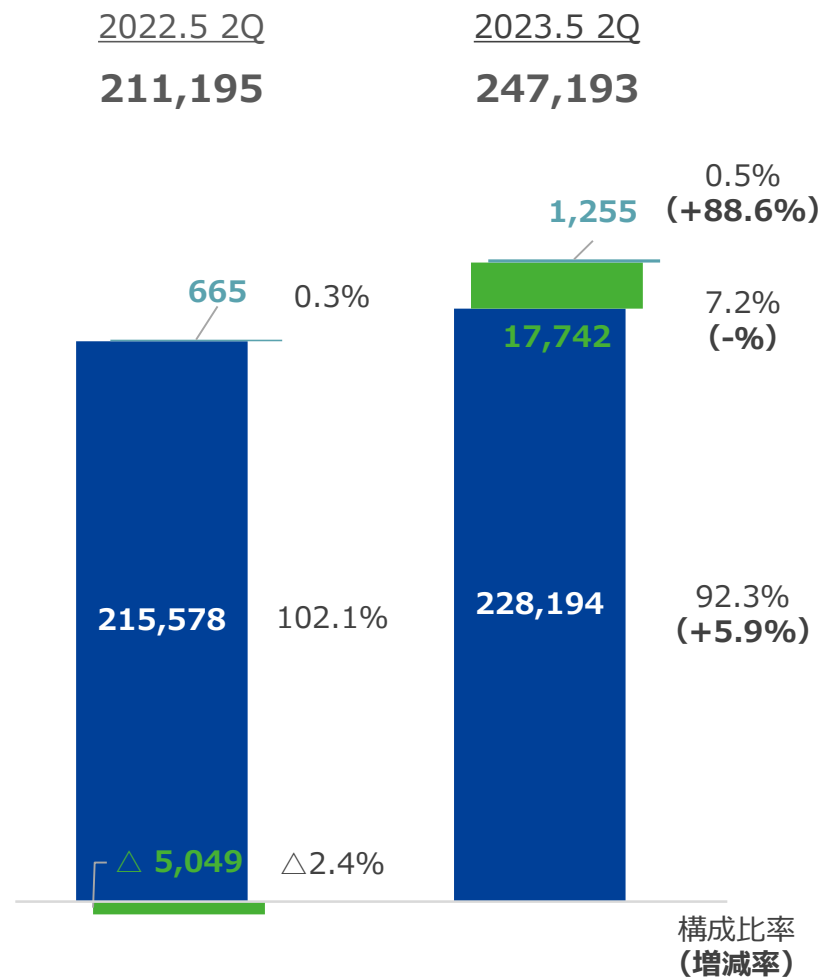
売上高

(単位：千円)



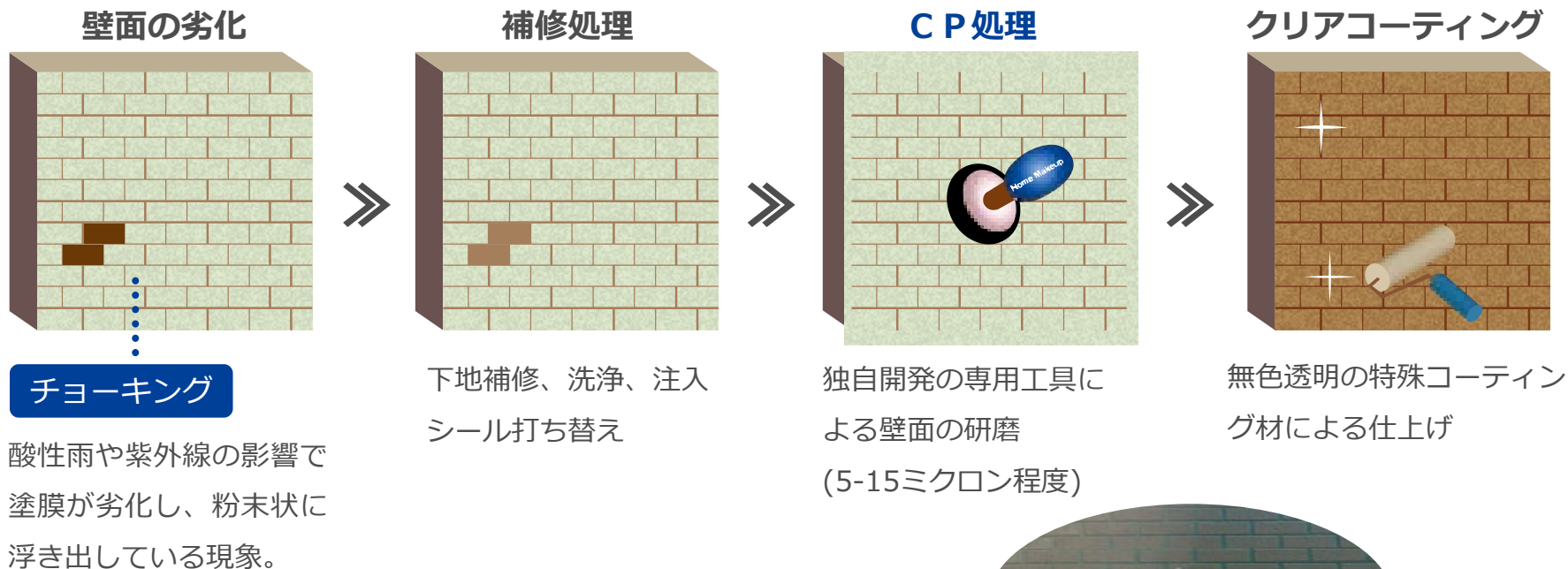
利益

(単位：千円)



無色透明なコーティング材のため、素地そのものの意匠性を活かし美観に優れた塗膜を形成します。塗膜は耐久性に富み建物を効果的に水分の浸透から守りコンクリートの中酸化を防ぎます。

塗装面の補修方法(CP処理)
コートポリッシング工法(塗装研磨/Coat Polishing)



チョーキング

酸性雨や紫外線の影響で塗膜が劣化し、粉末状に浮き出している現象。

下地補修、洗浄、注入
シール打ち替え

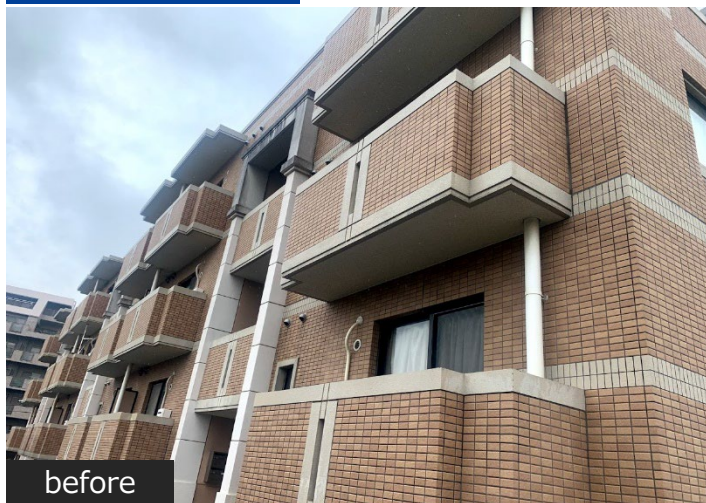
独自開発の専用工具による壁面の研磨
(5-15ミクロン程度)

無色透明の特殊コーティング材による仕上げ



施工例

マンション



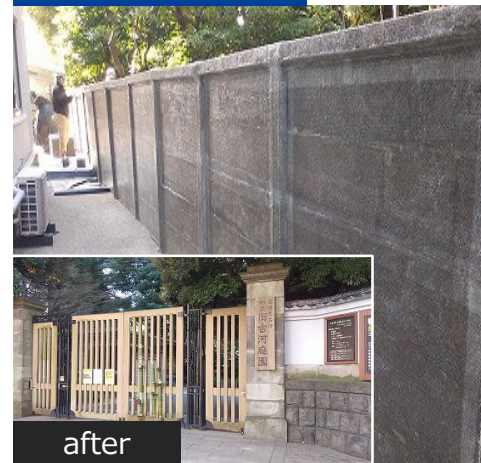
ビル



テーマパーク

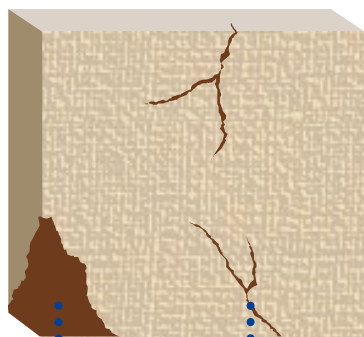


都立庭園



ヘアークラックや爆裂等の壁面の物理的な損傷に対して、追従（吸着・弾力）性と速乾性に優れた特殊な補修材にて強度を再生し、更にカラーコーティング材の塗布により美観も再生します。また、紫外線や酸性雨からの保護も実現します。

壁面の劣化



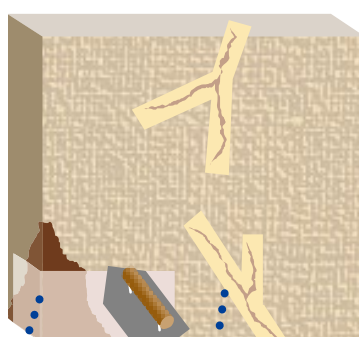
爆裂

雨水や空気中の二酸化炭素の侵食により外壁内部の鉄筋が腐食膨張し外壁そのものを崩壊させている現象

ヘアークラック

気温変化や乾燥による外壁材の収縮や振動等によって生じる壁面の亀裂

補修処理



A

B

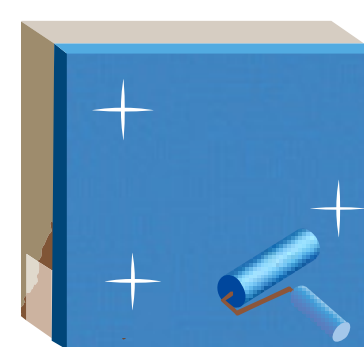
A 爆裂部

素地補修後、グラスファイバー製のシートにて補強

B ヘアークラック部

高追従性の伸縮テープにて亀裂の進行を阻止

カラーコーティング



特殊カラーコーティング材による補修面の保護と美観の形成

施工例

戸建て住宅



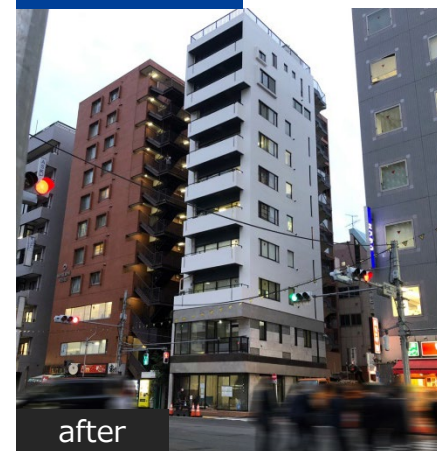
アパート



社屋



ビル



基本となるクリアコーティング施工及びカラーコーティング施工での技術を外壁以外にも応用し、外構や屋根等のコーティング、止水・防水等の特殊工事まで対応可能。

マクハリニュートン工法

強固な透明塗膜による
タイルはく落防止システム



ウルトラジャケット工法

柔軟性・強靭性を併せ持つ
大壁工法



キングブーツ工法

基礎巾木部
クラック防止工法



防水コーティング



防カビコーティング



止水コーティング



はく落防災コーティング



コンクリートの表面が透けて見える革新的なコーティング工法



特許第5727708号

コンクリート構造物表面の強化コーティング方法及びコンクリート構造物の強化コーティング構造並びに強化コンクリート構造物（西日本高速道路㈱共同特許）

特許第6499891号

コンクリートのコーティング構造、および、コンクリート表面のコーティング方法

特許第6808354号

コンクリート構造物、コンクリート構造物の製造方法、およびコンクリート構造物の劣化診断方法

従来の色つきコーティングの問題点

コンクリート表面が目視不可能

- 表面保護内の異常箇所の特定が困難
- 点検効率が悪い

作業工程・使用材料が複雑

- 膨大な手間と時間が必要
- 管理費や仮設費のコスト負担大

繊維が硬い、または厚い

- 細かい部材、部分の施工が困難
- 作業効率の低下、品質の低下



本工法の特徴

コンクリート表面が透けて見える

- 点検精度向上
- メンテナンス費抑制
- 異常箇所をすばやく特定

ガラス連続繊維シートが柔らかい

- 細かい部分の施工も可能

シンプルな作業工程と使用材料

- 30～50%工期短縮
- 使用材料は2種類のみ（プライマー不要）



水蒸気透過性

- 防水性を併せ持つ
- 膨れ・内部劣化抑制

構造物の長寿命化

- 中性化抑止性
- 遮水・遮塩性
- 耐候性向上
- その他諸性能

構造物のじん性向上

- 構造物の粘り強さ向上・強度再生
- 二次災害の防止



施工後も補修箇所を目視可能

本工法の特徴

10年以上経過しても変状・変色がみられない透明性

本工法施工後の実施モニタリングを継続中

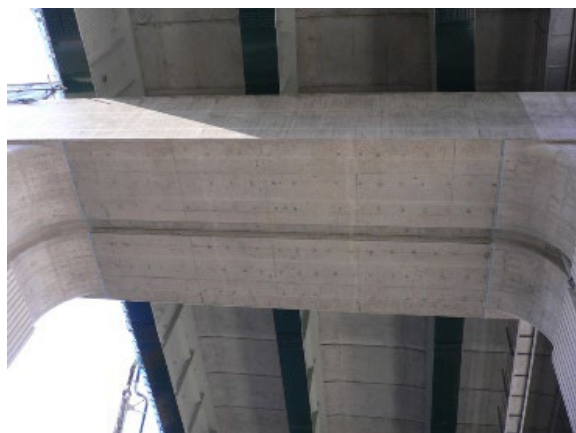
施工時
2009.11撮影



6年2ヶ月経過
2016.1撮影



10年9ヶ月経過
2020.8撮影



実施モニタリング例：ラーメン橋脚横梁部

外観変状は認められない

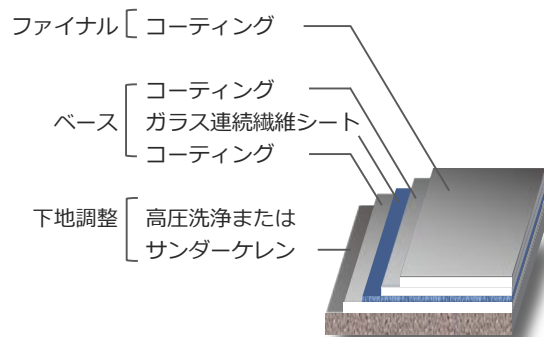
他工法

※変色が見受けられる



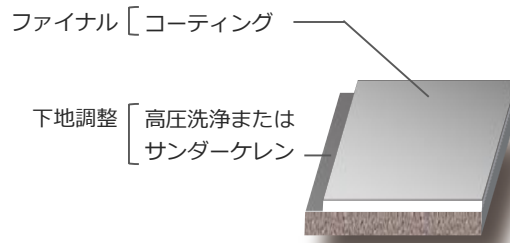
主な工法タイプ

超薄膜・薄膜 スケルトンはく落防災コーティング

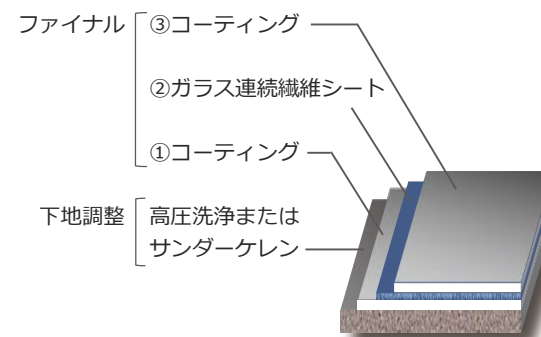


スケルトンクリアーコーティング

シートを必要としない工法



T-One工法



工法名	コーティング塗布量(L/m ²)			NETIS	共同開発
	ベース	ファイナル	合計		
薄膜スケルトン はく落防災コーティング	0.8	0.2	1.0	-	西日本高速道路(株) 特許第5727708号
超薄膜スケルトン はく落防災コーティング	0.5	0.2	0.7	CG-120025-VE	パシフィックコンサルタンツ(株)
スケルトン クリアーコーティング		0.5	0.5		-
T-One工法		0.7	0.7	-	東鉄工業(株)

施工例

橋梁

超薄膜スケルトン
はく落防災コーティング



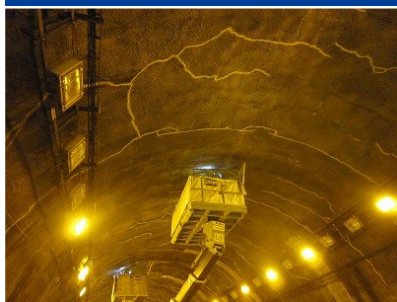
橋梁

超薄膜スケルトン
はく落防災コーティング



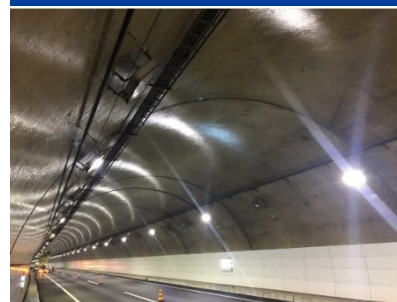
吹付けモルタルトンネル

スケルトンクリアーコーティング



鋼繊維仕様トンネル

スケルトンクリアーコーティング



住宅や店舗、公共事業等の新築・増改築・リフォーム工事等を行っています。

新築工事（戸建て住宅）



店舗新装工事



保育園新築工事



店舗新装工事



1 会社概要

2 事業内容

3 業 績

4 外部環境

5 成長戦略

1. 損益計算書の概要
2. 業績推移
3. 貸借対照表の概要

3-1.損益計算書の概要

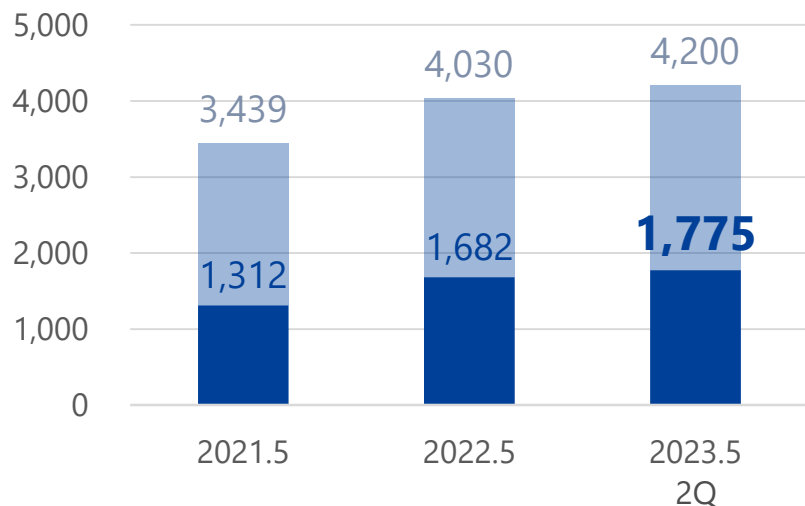
(単位：百万円)

	2021年5月期 2Q	2022年5月期 2Q	2023年5月期 2Q	対前年同四半期 増減率
売上高	1,312 (100.0%)	1,682 (100.0%)	1,775 (100.0%)	+5.6% (注)1
営業利益	58 (4.4%)	119 (7.0%)	141 (7.9%)	+18.8% (注)2
経常利益	85 (6.4%)	133 (7.9%)	158 (8.9%)	+18.7% (注)3
当期純利益	55 (4.1%)	89 (5.2%)	107 (6.0%)	+19.8% (注)4

(注)

1. 既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化継続によるもの。
2. 売上高の増加に伴う売上総利益の増加によるもの。
3. 有価証券利息8,984千円、不動産賃貸収入7,424千円、減価償却費2,518千円の計上等によるもの。
4. 固定資産売却益816千円、法人税等52,281千円の計上等によるもの。

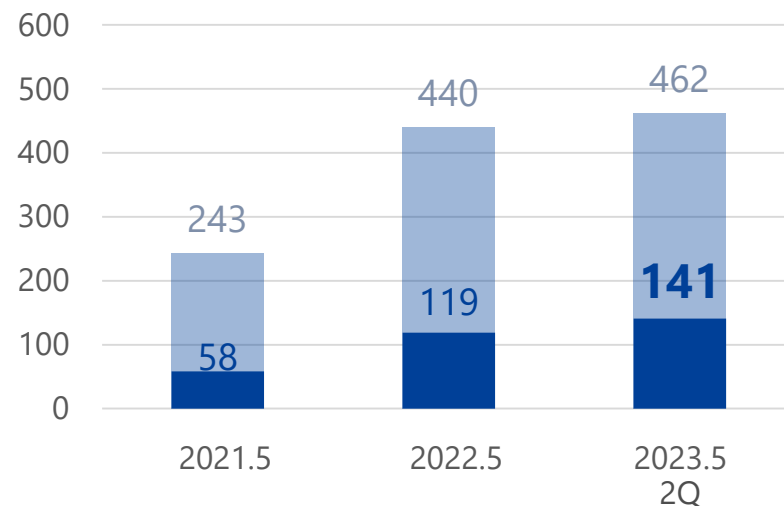
売上高



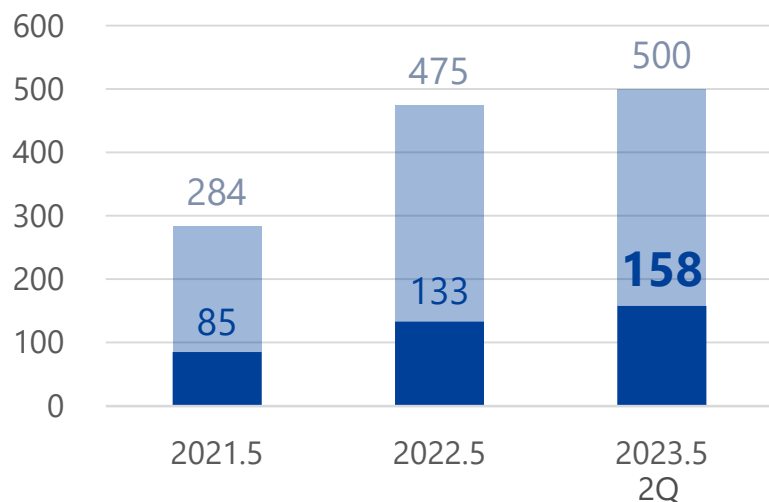
営業利益

(単位：百万円)

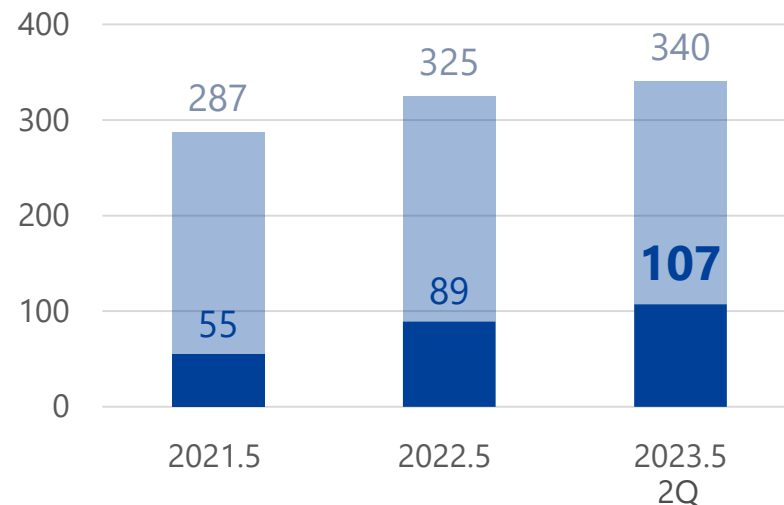
■ 通期 ■ 2Q



経常利益



当期純利益



3-3.貸借対照表の概要

(単位：百万円)

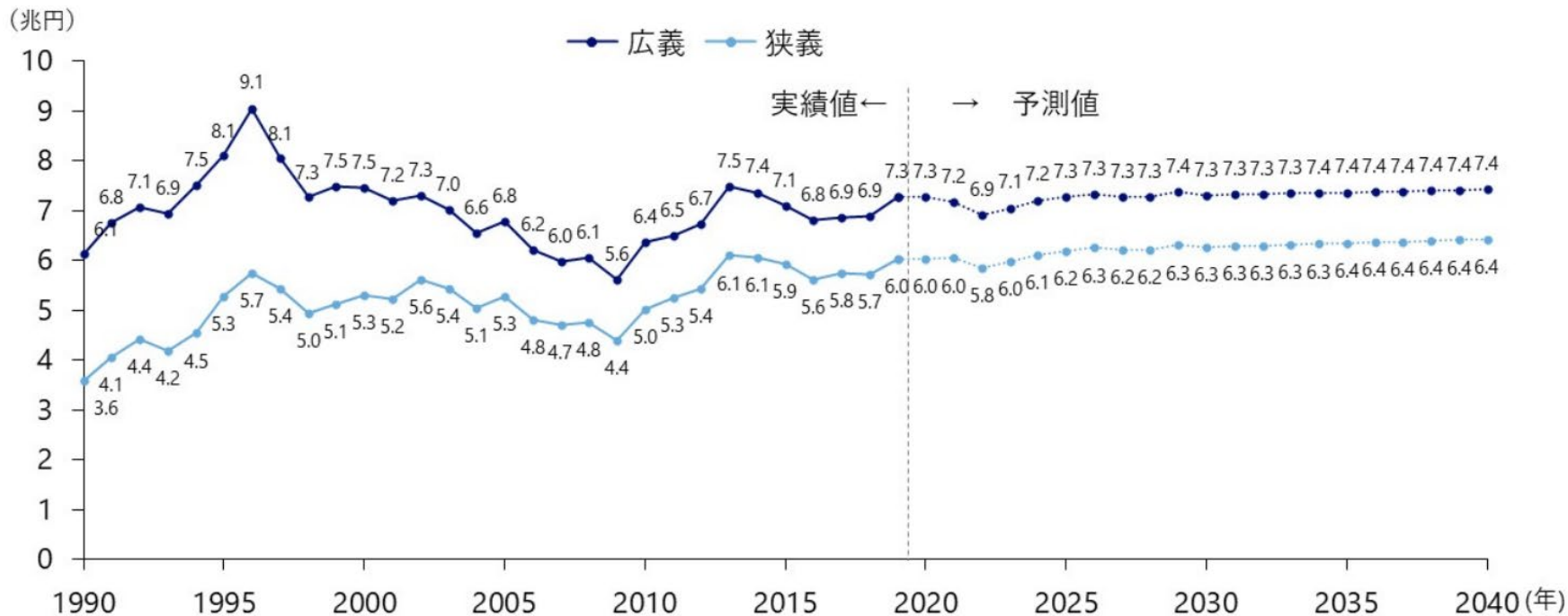
		2022年5月期 4Q	2023年5月期 2Q	増減	
資 産	流動資産	2,589	2,571	△18	現金及び預金 △227、 未成工事支出金 △33 仕掛販売用不動産+127、他
	固定資産	1,252	1,258	+6	有形固定資産（車両運搬具他） △14、他
	合計	3,841	3,829	△12	—
負 債	流動負債	855	810	△45	支払手形 △114、 未払法人税 △26、 工事未払金 +70、他
	固定負債	3	3	—	—
	合計	858	813	△45	—
純資産合計		2,983	3,016	+33	利益剰余金 +68、 自己株式 △36、他
負債純資産合計		3,841	3,829	△12	—

- 1 会社概要
- 2 事業内容
- 3 業 績
- 4 外部環境**
- 5 成長戦略

1. ホームメイキャップ事業の推定市場規模

住宅リフォーム市場 6~7兆円規模で推移

■ リフォーム市場規模の実績と予測値



出所) 実績値は住宅リフォーム・紛争処理センター「住宅リフォームの市場規模(2019年版)」より。予測値は野村総合研究所

*広義と狭義のリフォーム市場規模の定義

狭義のリフォーム市場規模は、「住宅着工統計上『新設住宅』に計上される「増築・改築工事」および「設備等の修繕維持費」を指します。

広義のリフォーム市場規模は、狭義のリフォーム市場規模に「エアコンや家具等のリフォームに関連する耐久消費財、インテリア商品等の購入費を含めた金額」を加えたものです。

(住宅リフォーム・紛争処理支援センターより)

*リフォーム市場規模の予測

2020年は主要企業の業績調査等に基づいた推計値、2021年以降はNRIモデルに基づいた予測値です。

◆国土強靱化基本計画 2014年6月3日閣議決定（平成30年12月14日改定）

我が国は、いかなる災害が発生しようとも

- ・人命の保護が最大限図られること
- ・国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること
- ・国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ・迅速な復旧復興

を基本目標として、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」を推進している。

国土強靱化計画予算 3.7兆円（公共工事関係）



スケルトン防災コーティング施工の対象市場規模 3.3兆円

出所) 令和2年12月内閣官房国土強靱化推進室データ参考

インフラ老朽化対策・鉄道施設の耐震対策

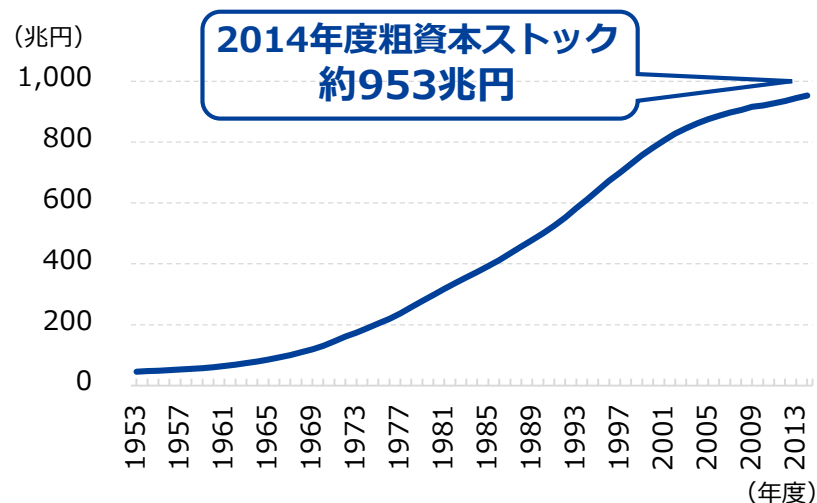


インフラストック

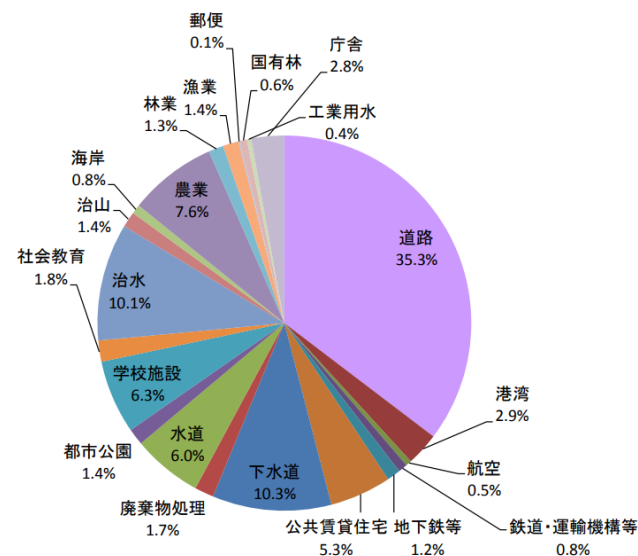
高度成長期を通して急速に社会資本ストックの整備が促進された結果、2014年度の粗資本ストックは、953兆円と推計。

特に道路部門ストックが多く、全体の約35%を占める

■ 粗資本ストック推計結果の推移 (2011暦年価格)



■ 粗資本ストック部門別内訳 (2014年度)

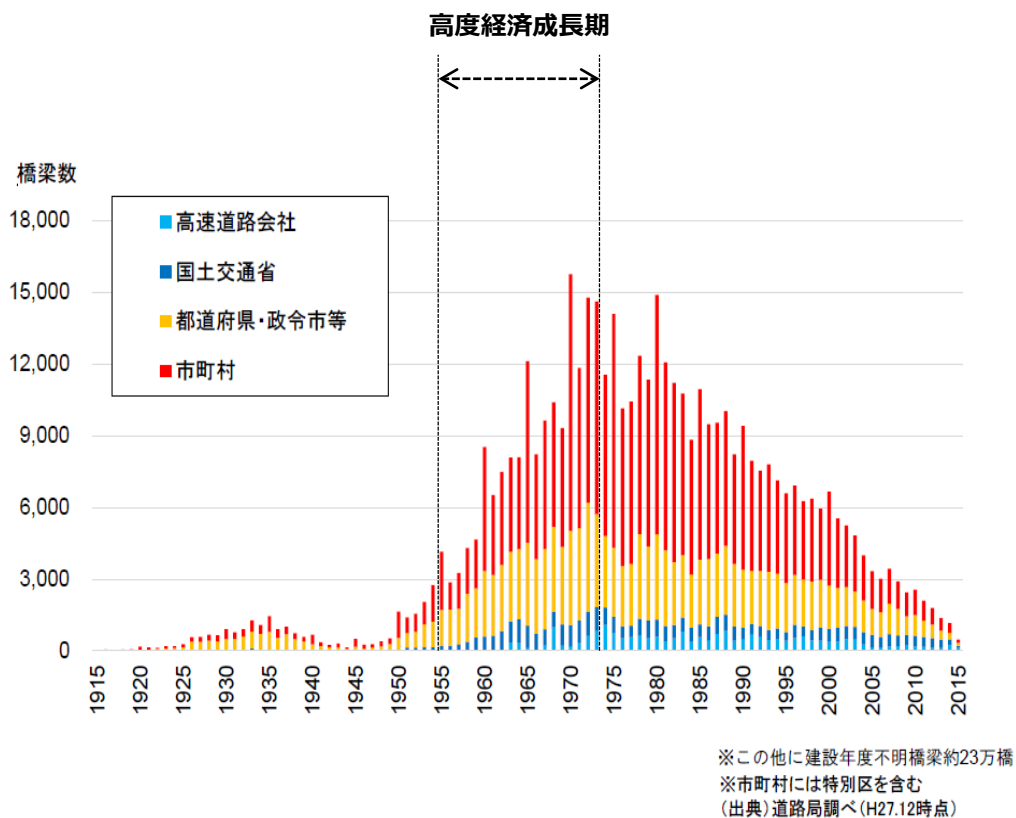


ストック推計は、社会資本の新設改良に関わる投資額を累計し、共用年数の経過による除却及び減価を控除する手法により算出。投資額の累計から除却額を控除したものが**粗資本ストック**（さらに原価額を控除したものが純ストック）

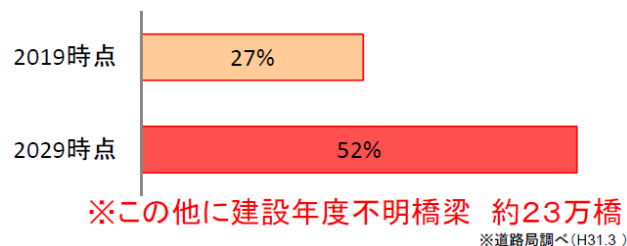
出所) 内閣府政策統括官「日本の社会資本2017」

インフラストック：道路

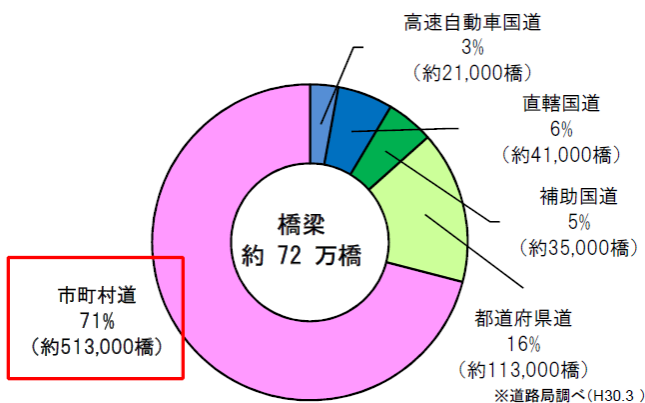
■ 建設年度別の橋梁数



■ 建設後50年を経過した橋梁の割合



■ 道路種別別橋梁数



1 会社概要

2 事業内容

3 業 績

4 外部環境

5 成長戦略

1. 事業地域の拡大へ
2. 強化する経営機能
3. 中長期的な成長イメージ
4. インフラ点検データ管理システムの開発
5. 双セキュリティキャビネットBOXの開発
6. SDGsと役割

ホームメイキャップで「列島リフォーム®」の実現へ

現在 22拠点

東北エリア | 仙台支店

関東エリア | 東京支店
西東京支店
横浜支店
千葉支店
埼玉支店
宇都宮支店

中部エリア | 名古屋支店
浜松支店

関西エリア | 大阪支店
神戸支店

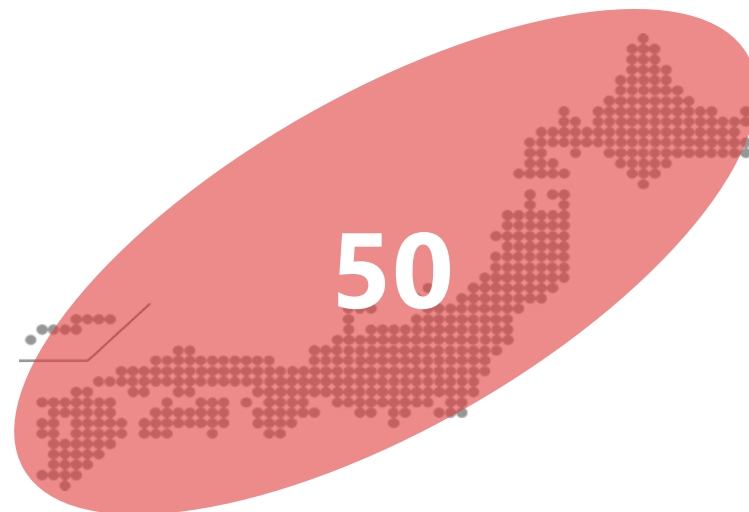
中四国
エリア | 宇部支店
岡山支店
広島支店
福山支店
周南支店
下関支店
松山支店

九州エリア | 北九州支店
福岡支店
久留米支店
熊本支店



未来

2024年6月までに
全国47都道府県を全てカバーする
50拠点展開を目指す



営業基盤の強化

- ✓ 全国各地への営業展開を目指し、広域的に直営支店を配置・拡大する
- ✓ パートナー発掘の強化、公共団体との関係強化や提案強化
- ✓ 工事採算性を重視した受注方針の徹底
- ✓ 大手建設コンサルタントとの連携を基盤に公共工事の受注強化
- ✓ スケルトンはく落防災コーティング施工の受注拡大を図る

技術力の更なる向上

- ✓ スケルトン防災コーティングの改良およびコストダウン
- ✓ 施工管理と品質・技術の向上
- ✓ ホームメイキャップマスターの育成

組織力

- ✓ 支店長人材の採用・育成
- ✓ 施工認定店の整備
- ✓ 経営ビジョンを共有し挑戦する価値観を形成する



結果

- ✓ 売上高経常利益 **10%以上**
- ✓ 自己資本比率 **50%以上**
- ✓ 有利子負債 **ゼロ**

スケルトン防災コーティング施工の受注拡大により さらに高い成長性を実現！

事業規模



現在

未来

スケルトン防災コーティング施工の活用により差別化を図る

対象物管理サーバ及び対象物管理システム
特許第6131105号
パシフィックコンサルタンツ(株)共同特許

コンクリート構造物 + スケルトン防災コーティング施工 + **QRコード** = 防災 + 管理

点検箇所の撮影



点検調査(その3)

施設名	宇原市大字渡辺手動園1の車	点検日	2022年9月19日
始点座標	北緯: 33度59分28.5秒 東経: 131度43分17.1秒	終点座標	北緯: 33度59分28.5秒 東経: 131度43分17.1秒
橋梁番号	380201	点検者	登録施工企業(株) 小田原
橋梁名	上関特橋	点検方法	近視目視(橋上・橋下)
一 覧 図	その他写真1	その他写真2	
	その他写真3	その他写真4	



サーバに履歴情報を保存・管理

QRコードからサーバにアクセス



継続的なモニタリングにより変状を把握し、効率的な維持管理に活用

開発の目的

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大第2波に備え、PCR検査時の感染リスクを減らし、セキュリティを高める非接触型構造を考案（特許出願中：特願2020-90409）
- 第2波からは、街中のクリニックで防ぐ
- 感染症専門外来が街中のクリニックで可能に
- 双セキュリティキャビネットBOX設置で経営難に苦しむクリニックを救う



商品説明（外観と設備）

検査側



防菌用グローブ



収納BOX（取り外し可）

- ・グローブ消毒用の消毒液入れとして
- ・使い捨て手袋収納ケースとして



換気システム



出入口側



照明



エアコン



インターホン・通話機能

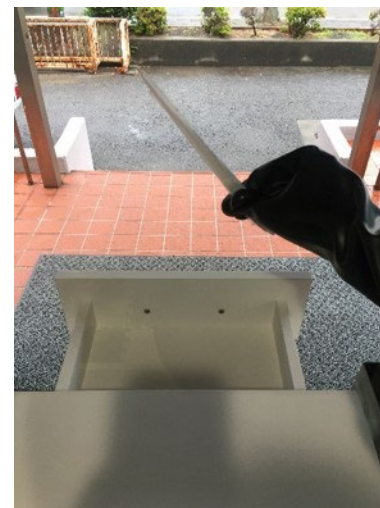


商品説明 (受け渡しBOX)

内側 (医療従事者側)



外側 (検査側)



特徴と狙い

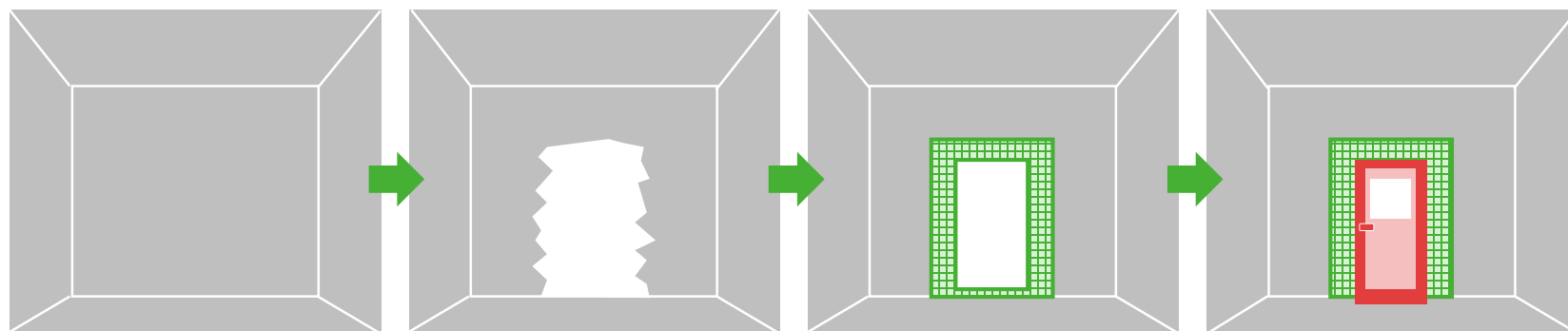
- 感染対策を実施したくてもスペースがない街中のクリニックに設置
- 電話ボックス程の省スペースで設置可能。幅・奥行き 1 m×高さ 2 m
- 院内、院外（壁越し）どちらでも設置可能



弊社の特許技術
剥落防止工法を活かし安心安全に設置

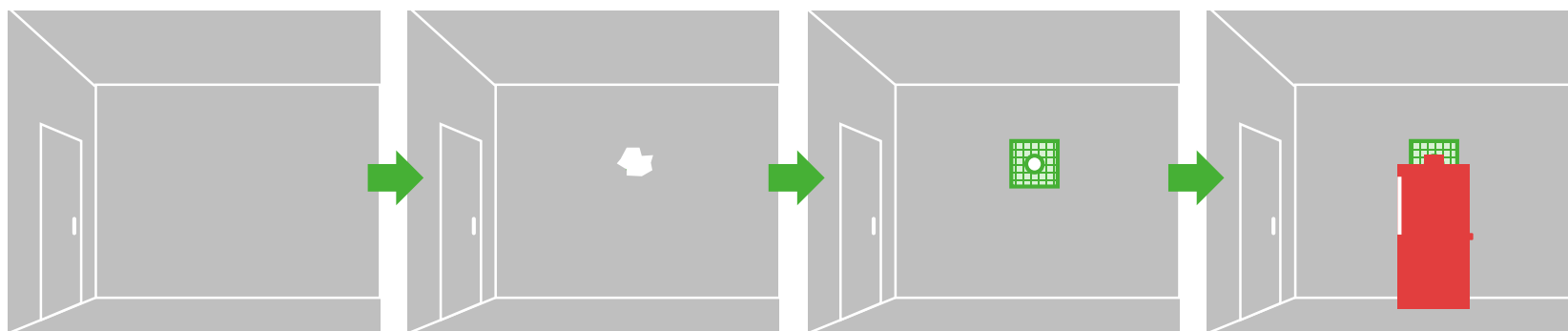
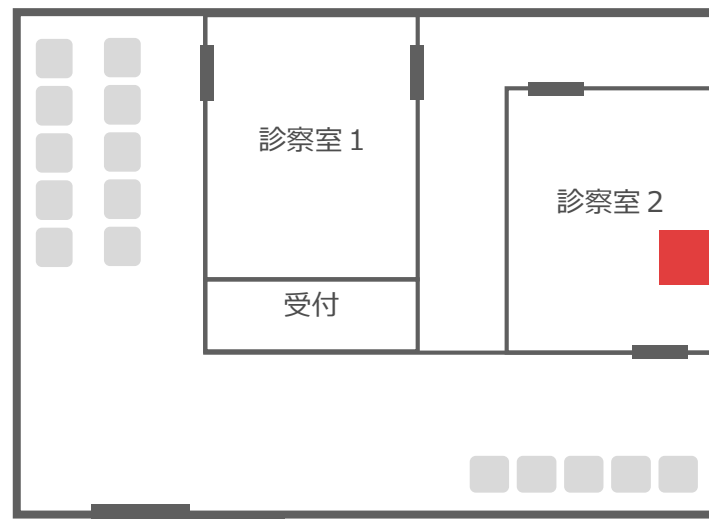
発熱外来専用受付として**院外（壁越し）**へ設置する場合

双セキュリティキャビネットBOXの
周囲を剥落防止工法で補強



院内の発熱外来専用の診察室内へ設置する場合

双セキュリティキャビネットBOXの
換気ダクト周りを
剥落防止工法で補強



導入実績

2020年5月28日 山口県：宇部市保健センターへ寄贈

▼ 新聞記事：2020年5月29日 宇部日報



2020年7月 コロナ抗原検査キットを使用した検証を実施

2020年9月 山口県の委託を受けて正式に宇部地域外来・検査センターを開設

病院への導入実績 3件（2022年5月時点）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域密着の総合建設業、そして建設のプロフェッショナル集団として、地域社会の発展のために、お客様に「安全」「安心」を提供し、信頼され続けると共に、社員とその家族が幸せであることを目的に、お客様の想いを、質の高い設計・提案・施工を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）を推進し、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

SDGs17の目標のうち9つの目標に取り組んでおります。

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績が本資料に掲載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを予めご了承ください。

